

超低汚染

超耐候

一液タイプ

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆

超低汚染セラミックハイブリッドシリコン樹脂塗料

水性クリーンタイトSi シリーズ

セラミックハイブリッドファイン技術による
次世代型超低汚染塗料誕生！

超低汚染セラミックハイブリッドシリコン樹脂塗料

水性クリーンタイトSi

超低汚染セラミックハイブリッド弾性シリコン樹脂塗料

水性弾性クリーンタイトSi

超低汚染塗料は第三世代に

- 超微粒特殊セラミック粒子と光安定剤の複合化技術で、耐久性を飛躍的に向上
- 一液で、従来の二液に匹敵する超低汚染性能
- 均一で、安定した超低汚染性



従来の低汚染塗料は、二液タイプが主流であり、一液タイプに比べて現場での取り扱いが煩雑であったり、あるいは製品の攪拌不良などにより均一な低汚染機能を得られないなどの欠点が指摘されることもありました。

この新しいセラミックハイブリッドファイン技術を用いた水性クリーンタイトSiシリーズは、超微粒子(ナノサイズ)のセラミック成分が表面に均一に配向することで、一液タイプでありながら、従来の二液タイプに匹敵する低汚染機能を実現した次世代型の超低汚染塗料です。

更にセラミック成分と光安定剤の複合(ハイブリッド)化技術により、耐久性が大幅に向上し、メンテナンスサイクルを大きく延ばすことができます。

水性クリーンタイトSiシリーズは、新築だけでなく微弾性サーフェーサーを用いた塗り替えにも適用できます。

進化した一液超低汚染技術が 建物の美観を長期に亘り維持します。

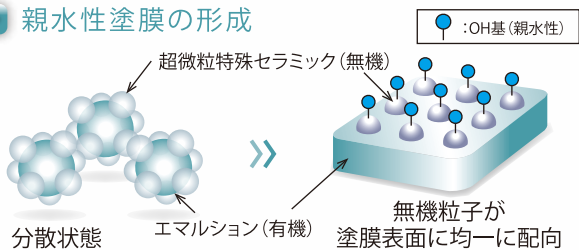


超低汚染性

超微粒特殊セラミック粒子により、緻密な親水性塗膜を形成し、ばい塵等の汚染物質の付着を抑制します。

超微粒セラミック複合化技術

親水性塗膜の形成

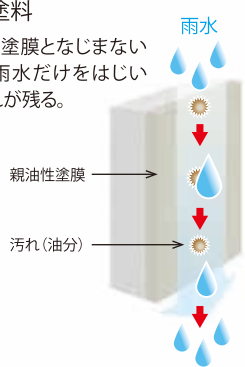


超低汚染トリプル効果

その1 親水性

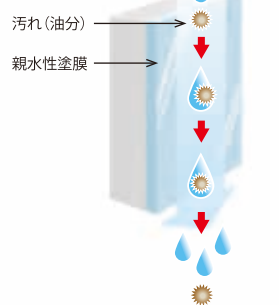
汎用塗料

雨水が塗膜となじまないため、雨水だけをはじいて、汚れが残る。



水性クリンタイトSiシリーズ

雨水が塗膜となじみ、汚れを洗い流す。

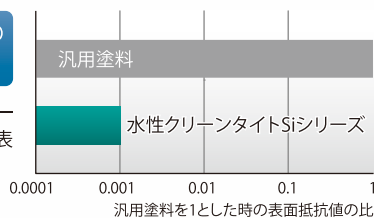


その2 低帯電性

水性クリンタイトSiシリーズの表面抵抗は低く、汚れの付着を防ぎます。

表面抵抗は従来の塗膜の
約1000分の1

試料に電圧(10~1000V)を一定時間印加した際の塗膜の表面抵抗



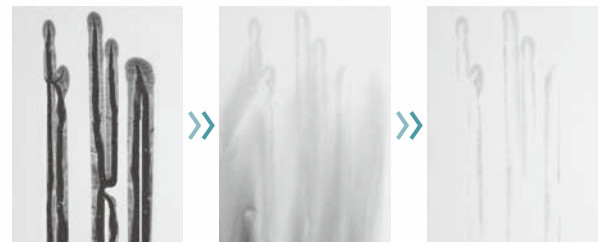
その3 高架橋密度

水性クリンタイトSiシリーズの塗膜は高い架橋密度を示し、汚れの定着を防ぎます。

促進汚染性試験

カーボン分散液(汚染物質)を塗膜面に塗布し、水洗後の汚れの有無を確認

汎用塗料

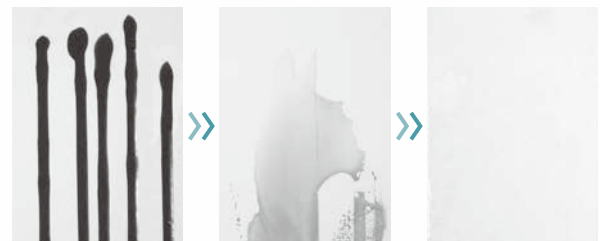


汚染物質を塗布

洗浄

洗浄後

水性クリンタイトSiシリーズ



汚染物質を塗布

洗浄

洗浄後

屋外暴露汚染性(12ヶ月)



汎用塗料



水性クリンタイトSiシリーズ

アクリルシリコン樹脂 × セラミック粒子 × 光安定剤 の複合化技術で、更なる高耐候レベルへ！

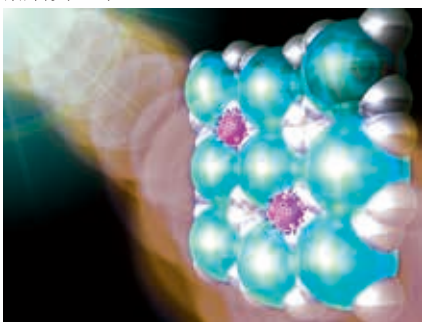


超 耐 候 性

高耐候性を示すアクリルシリコン樹脂と超微粒特殊セラミック粒子との複合化と、光安定剤の採用により、紫外線（UV）による色あせなどの塗膜の経年劣化を抑えることで、長期にわたり、優れた耐久性、耐候性を発揮します。

汎用塗料

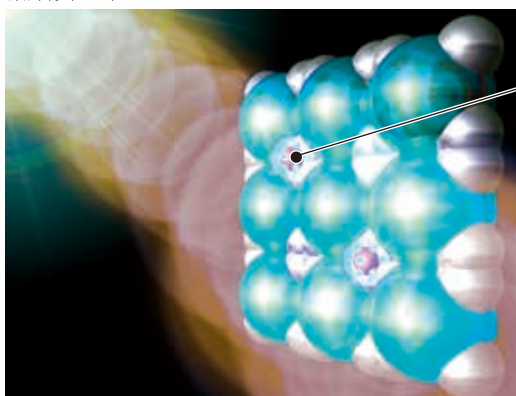
紫外線（UV）



紫外線、酸素、水などの影響で塗膜の中に劣化因子が発生し、塗膜の組織を次々と破壊させる。

水性クリーンタイトSiシリーズ

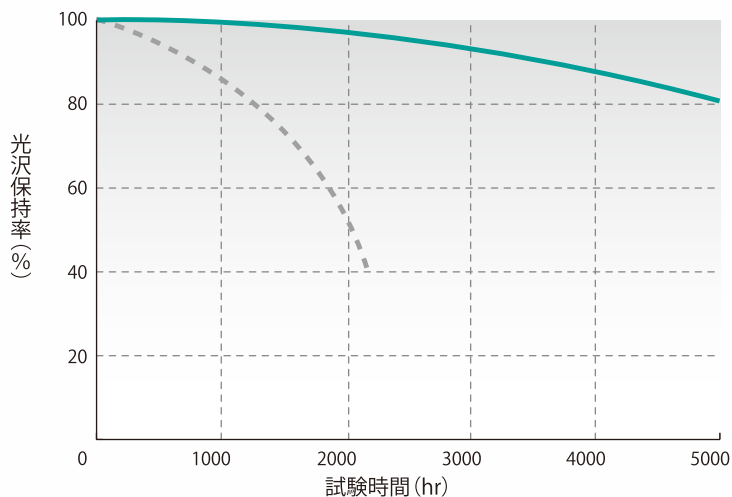
紫外線（UV）



光安定剤

光安定剤が、発生した劣化因子を捕まえることで、塗膜の劣化の進行を抑え、耐久性を高める。

▶ 促進耐候性試験（キセノンランプ）



— 水性クリーンタイトSiシリーズ
- - - 汎用艶有り合成樹脂エマルジョンペイント



透湿性 (艶消し)

汎用塗料と比較して、水蒸気透過性が高いため、塗膜の膨れ抑制に役立ちます。



防かび・防藻性

特殊設計により、かびや藻等の微生物汚染に対して強い抵抗性があります。



ハンドリング性

一液タイプであるため材料の計量、調合、攪拌等の煩わしい作業を省略でき、安定した性能を提供します。



安全設計

水性であるため、溶剤中毒や火災の心配もなく、作業環境の向上に役立ちます。



マットな質感 (艶消し)

艶消しは、マットな質感で、耐候性・低汚染性も兼ね備え、落ち着いた外壁を演出します。



防水性 (水性弾性クリーンタイトSiのみ)

主材に弾性系材料を使用する場合、躯体のひび割れに対し優れた追従性を示し、雨水の浸入を防ぎます。

適用下地

新築時

コンクリート・モルタル・サイディング・ALC部材等

改修時

吹付タイル・リシン・スタッコ等各種旧塗膜

(下塗りにはエスケープ弾性プレミアムフィラー (艶消しは適用外)・水性ソフトサーフSG・水性ソフトサーフエポを使用^{*1)})

弾性吹付タイル等各種旧塗膜

(下塗りには、水性弾性サーフエポ、またはエスケープ弾性プレミアムフィラーを使用^{*1・2)})

※1.軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型窯業系サイディング及び発泡ウレタンなどを用いた高断熱型外壁に塗装する場合は、蓄熱や、水の影響、下地の状態、塗装時の環境など、いくつかの条件が重なることで、パネルの変形や塗膜の膨れ、剥がれなどを生じることがあります。ご採用に当たっては、最寄りの営業所にご相談ください。

※2.上塗りには水性弾性クリーンタイトSiをご使用ください。また、旧塗膜が高弾性の場合は適用できないことがあります。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

用途

戸建て住宅、マンション、店舗、事務所、工場、倉庫、学校など公共施設等の内外装

危険情報と安全対策

製品の取り扱いには、それぞれの安全データシート (SDS) に従ってください。特に★印のついている製品は溶剤形のため、下記の点にご注意ください。

1. 引火性の液体であるため、火気厳禁です。
2. 有機溶剤中毒の恐れがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
3. 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。

※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書をご確認ください。

施工後の注意

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

荷姿

水性クリーンタイトSi (艶有り、3分艶、艶消し)	16kg石油缶 (標準塗坪 4kg缶)	45~72㎡ / 缶 11~18㎡ / 缶
水性弾性クリーンタイトSi (艶有り、3分艶)	16kg石油缶 (標準塗坪 4kg缶)	89~123㎡ / 缶 22~30㎡ / 缶
水性弾性クリーンタイトSi中塗材 (艶有り)	16kg石油缶 (標準塗坪 4kg缶)	94~133㎡ / 缶 24~33㎡ / 缶
水性ミラクシーラーエコ (クリアー・ホワイト)	15kg石油缶 (標準塗坪)	115~150㎡ / 缶
エスケープ弾性プレミアムフィラー	15kg石油缶 (標準塗坪)	15~75㎡ / 缶
レナラック主材	20kg石油缶 (標準塗坪)	吹放し仕上げ: 11~15㎡ / 缶、小粒仕上げ: 25~33㎡ / 缶
レナフレンド主材	20kg石油缶 (標準塗坪)	吹放し仕上げ: 7~9㎡ / 缶、小粒仕上げ: 8~10㎡ / 缶

※上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

標準施工仕様

改修仕様

【下地：モルタル、コンクリート 既存塗膜：吹付タイル、リシンなど】

(23℃)

工程	材料	割合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	●旧塗膜に脆弱層がある場合はサンダー及び皮スキ、ケレン棒などを用いて除去し、ミラクファンドKC-1000で段差修正後、パターンの復元を行ってください。 なお、下地調整塗材(ミラクファンドKC-1000、ミラクファンドKC-2000、ミラクファンドKC-3000など)を用いる場合は、下地調整後、水性ミラクシーラーエコなどの下塗材を塗付してください。 ●高圧水洗(5~15MPa)にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去してください。							
1 下塗り ^{※1,2,3} (薄付仕上げ)	エスケー弾性プレミアムフィラー	100	0.20~0.5	1	-	3以上	-	ローラー、刷毛
	清 水	5~8	-					
1' 下塗り ^{※1,2,3} (厚付仕上げ)	エスケー弾性プレミアムフィラー	100	0.5~1.0	1	-	4以上	-	M-9ローラー(マスチックローラー) リジガン 口径:4~5mm 圧力:392~588kPa(4~6kgf/cm ²)
	清 水	2~8	-					
2 上塗り ^{※4,5}	水性クリーンタイトSi	100	0.25~0.35	2	2以上	-	24以上	ローラー、刷毛 エアレスブレードガン 吐出量:800~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
	清 水	0~10	-					

注) 水性クリーンタイトSi(艶消し)は対象外となります。艶消しの場合は、水性ソフトサーフェゴ(16kg石油缶)、水性ソフトサーフSG(16kg石油缶)をご使用ください。

【下地：モルタル、コンクリート 既存塗膜：弾性吹付タイルなどの弾性系下地】

(23℃)

工程	材料	割合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	●旧塗膜に脆弱層がある場合はサンダー及び皮スキ、ケレン棒などを用いて除去し、ミラクファンドKC-1000で段差修正後、パターンの復元を行ってください。 なお、下地調整塗材(ミラクファンドKC-1000、ミラクファンドKC-2000、ミラクファンドKC-3000など)を用いる場合は、下地調整後、水性ミラクシーラーエコなどの下塗材を塗付してください。 ●高圧水洗(5~15MPa)にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去してください。							
1 下塗り ^{※1,2} (薄付仕上げ)	水性弾性サーフェゴ	100	0.30~1.0	1~2	3以上	3以上	-	ローラー、刷毛 エアレスブレードガン リジガン
	清 水	6~10	-					
1' 下塗り ^{※1,2} (厚付仕上げ)	水性弾性サーフェゴ	100	0.8~1.5	1~2	3以上	6以上	-	M-9ローラー(マスチックローラー)
	清 水	3~5	-					
2 上塗り ^{※4,5,6}	水性弾性クリーンタイトSi中塗材	100	0.12~0.17	1	-	2以上	-	ローラー、刷毛 エアレスブレードガン 吐出量:800~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
	清 水	0~8	-					
3 上塗り ^{※4,5,6}	水性弾性クリーンタイトSi	100	0.13~0.18	1	-	-	24以上	ローラー、刷毛 エアレスブレードガン 吐出量:800~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
	清 水	0~10	-					

新築仕様

【平滑仕上げ】

(23℃)

工程	材料	割合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	●下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 ●付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。							
1 下塗り ^{※7,8,9,10}	水性ミラクシーラーエコクリヤー	既調合	0.10~0.13	1	-	2以上	-	ローラー、刷毛 エアレスブレードガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
	清 水	0~10	-					
2 上塗り ^{※4,5}	水性クリーンタイトSi	100	0.22~0.30	2	2以上	-	24以上	ローラー、刷毛 エアレスブレードガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
	清 水	0~10	-					

【複層塗材E仕上げ】

(23℃)

工程	材料	割合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	●下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 ●付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。							
1 下塗り ^{※7,8,9,10}	水性ミラクシーラーエコクリヤー	既調合	0.10~0.13	1	-	2以上	-	ローラー、刷毛 エアレスブレードガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
2 主材塗り ^{※11}	レナラック主材	100	1.3~1.7	1~2	2以上	吹放し16以上 凸部処理 0.5以内	-	タイルガン 口径:6.5~10mm 吹付圧:392~588kPa(4~6kgf/cm ²)
	清 水	0~5	-					
(3) 凸部処理 ^{※14}	プラスチックローラーに塗料用シンナーAを付けて凸部を押さえる。				-	16以上	-	-
4 上塗り ^{※4,5}	水性クリーンタイトSi	100	0.25~0.35	2	2以上	-	24以上	ローラー、刷毛 エアレスブレードガン 吐出量:800~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
	清 水	0~10	-					

【防水形複層 E 仕上げ】

(23℃)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所 要 量 (kg / m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考		
					工程内	工程間	最終養生			
素地調整	●下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 ●附着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。									
1	下塗り※7,8,9,10	水性ミラクシーラーエコクリアー	既調合	0.10~0.13	1	—	2以上	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600~1000ml/分 パターン幅：25~30cm	
2	主材塗り※12 (最終塗り)	レナフレンド主材	100	1.5~1.8	1	—	3以上	—	リシンガン 口径：4~6mm 圧力：490~686 kPa(5~7kgf/cm ²)	
清 水		3~5	—							
3	主材塗り※12, 13 (最終塗り)	レナフレンド主材	100	0.7~0.9	1	—	吹放し18以上 凸部処理 0.5以内	—	—	タイルガン 口径：6.5~10mm 吹付圧：392~588 kPa(4~6kgf/cm ²)
清 水		0~2	—							
(4)	凸部処理※14	プラスチックローラーに塗料用シンナー A を付けて凸部を押さえる。			—	—	18以上	—	—	
5	上塗り※4,5,6	水性弾性クリーンタイトSi中塗材	100	0.12~0.17	1	—	2以上	—	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：800~1000ml/分 パターン幅：25~30cm
清 水		0~8	—							
6	上塗り※4,5	水性弾性クリーンタイトSi	100	0.13~0.18	1	—	—	24以上	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：800~1000ml/分 パターン幅：25~30cm
清 水		0~10	—							

- ※1. 改装時、下地の状態によって所要量が変わります。吸い込みの著しい場合などは2度塗りしてください。
- ※2. 使用する器具により、塗回数や所要量が異なる場合があります。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- ※3. 下塗りには、水性ソフトサーフSG (16kg石油缶)、水性ソフトサーフエポ (16kg缶) もご使用いただけます。
- ※4. 水性クリーンタイト Si、水性弾性クリーンタイト Si の希釈率は、スプレー塗り時で「5~10」、刷毛・ローラー塗り時で「0~10」となります。また、水性弾性クリーンタイト Si 中塗材の希釈率は、スプレー塗り時で「4~8」、刷毛・ローラー塗り時で「0~8」となります。
- ※5. 上塗材、中塗材の希釈率は、試験塗りなどにより決定し、それ以降は同一の希釈率にて使用してください。なお、希釈率は色目及び施工時の気温により変化することがありますのでご了承ください。
- ※6. 中塗材が塗装されていないと、剥離や性能不良の原因となりますので、中塗材の塗り残しがないように塗装してください。またタッチアップには中塗材を使用せず、必ず上塗材を使用してください。タッチアップを中塗材で行うと、汚染の原因につながります。なお塗り残しを避けるため、中塗材は上塗材より若干、色目を変えたものを使用するようにしてください。
- ※7. 希釈しますと付着力や性能低下などの原因となりますので、希釈は絶対にしないでください。
- ※8. 押出成形セメント板、GRC板などには下塗材として★エスケーハイブリッドシーラー EPO (15kgセット)、★マイルドシーラー EPO (クリアー・ホワイト、14kgセット) または★ミラクシーラー EPO (15kgセット) をご使用ください。また、軽量PC部材への施工は避けてください。
- ※9. 下塗りにはこの他、白色タイプの水性ミラクシーラーエコホワイト (15kg石油缶) もご使用いただけます。
- ※10. 水性ミラクシーラーエコ (クリアー・ホワイト) は、他の水性塗料が混ざるとゲル化することがあります。他の材料との混合や、刷毛、ローラー、エアレスなどの塗装器具の共用はさけるとともに、同じ洗いで洗った塗装器具の洗浄は行わないでください。
- ※11. レナフレンドの小粒仕上げの場合、所要量は0.6~0.8kg/m² (SKKスーパーガン (万能ガン) またはリシンガン、口径4~6mm) となります。
- ※12. この他、レナフレンドローラー用主材 (20kg石油缶) もご使用いただけます。
- ※13. レナフレンドの小粒仕上げの場合、主材模様塗りの所要量は、0.4~0.6kg/m² (タイルガンの口径は、4~6.5mm) となります。
- ※14. 灯油など他の材料の使用は絶対に避けてください。

施工上の注意事項

- 濃色や原色に近い色彩の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などが触れる可能性のある部位への塗装は避けてください。
- 上塗りにイエロー、レッド、ブルー、グリーン系など、彩度の高い色目を塗装する場合は、隠ぺい性を高めるため、隠ぺい性の良い共色であらかじめ塗装を行ってください。
- 艶調整品 (艶有り以外の3分艶など) は、被塗物の形状、膜厚や色目、塗回数、希釈率の差などにより、実際の艶と若干異なって見える場合があります。また濃い色目になると、ローラー塗装時に塗り継ぎ箇所での艶むらを生じやすい傾向があります。試し塗りの上、本施工に入る前にご確認ください。
- 施工部位により、低汚染性が十分に発揮されないケースがあります。特に、傾斜壁の下端部、笠木などの水切りのない部位、窓廻りで水切りが不十分な場合、汚れが溜まりやすい目地の下部、雨がからからない部位などは、注意が必要です。
- 上塗材はむらなく均一に塗付してください。低汚染機能を発揮するためには、塗付量の確保が重要な事項です。特に凹部に塗り残しができないよう、注意してください。
- 上塗材は所定の乾燥時間 (最終養生時間) を厳守してください。施工後、塗膜が乾燥するまでの時間内に降雨などにより、塗膜表面が長時間、水分にかかった状態になりますと、所定の低汚染機能が発揮されない場合があります。低汚染機能は乾燥後の塗膜で発揮されるため、乾燥過程で降雨などが予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に雨が当たらないよう、所定の乾燥時間を厳守してください。
- 鉄さび・シーリング材などが原因の汚染物質に対しては、低汚染機能が十分に発揮されません。
- 既存塗膜の剥離箇所は、既存のパターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 防かび・防藻性は繁殖の抑制の効果を示すものです。施工部位の構造や形状、環境条件などにより、防かび・防藻性が十分に発揮できない場合があります。
- かび、藻が付着している場合は、「SKKカビ除去剤 #5 (塩素系)」にて拭き取るなど、適切な下地処理をしてから塗装してください。
- 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。
- 塗り重ね時間は環境 (温度、湿度、換気、風通しやすさ) や膜厚によって変わります。
- 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- 補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- 補修塗りの際、仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がり性を確認した上で希釈量等を決定してください。
- 刷毛で補修塗りを行う際、スプレー塗りやローラー塗りとは仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じることがあります。
- 間隙が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けてください。
- シーリング材の上へ施工する場合、シーリング材の種類、材齢により、塗膜が密着しないことや汚染することがあります。詳しくは最寄りの各営業所までお問い合わせください。
- 陶磁器・タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異状を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行ってください。
- 塗膜の膨れ、剥がれ、白化の発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
- 最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、剥がれ、白化の発生、しみの発生、艶引けなどにつながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。
- 著しく結露を生じるような場所では、しみが発生することがありますので、塗装を避けてください。やむをえず塗装を行う場合は、強制換気の上、溶剤系塗料での塗装を推奨いたします。
- 結露等によりしみが発生した場合は、乾燥後に水拭きなどで除去してください。
- 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上の施工は原則的に避けてください。気温5℃以下での施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により室温を5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- 材料は使用前に内容物が均一になるように十分に攪拌し、開栓後は速やかに一度に使い切ってください。また材料を保管する場合は、無希釈の材料をしっかりと密栓してから直射日光を避けた冷暗所に保管し、できるだけ早目に使い切ってください。
- 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。



エスケー化研株式会社

SK KAKEN

本 社 大阪府茨木市中穂3-5-25 ☎072-621-7733

東 京 支 社 東京都新宿区高田馬場1-31-18 ☎03-3204-6601

国際事業本部 ☎072-621-7727

札幌支店 ☎011-784-4000 千葉支店 ☎043-304-0411 名古屋支店 ☎052-561-7712 神戸支店 ☎078-671-0451 福岡支店 ☎092-629-3427
 仙台支店 ☎022-259-2431 宇都宮支店 ☎028-657-5555 横浜支店 ☎045-820-2400 大阪支店 ☎072-621-7722 広島支店 ☎082-943-5043
 仙台住宅開発営業所 ☎022-388-8518 東京第一第二営業所 ☎03-3204-6601 厚木営業所 ☎046-294-3666 大阪住宅開発営業所 ☎072-621-7747 福岡営業所 ☎092-622-5561
 青森営業所 ☎017-762-3855 東京住宅開発営業所 ☎03-3204-6602 静岡営業所 ☎054-284-1877 南大阪営業所 ☎072-253-1910 福岡住宅開発営業所 ☎092-622-5562
 盛岡営業所 ☎019-654-8380 千葉営業所 ☎043-304-0411 浜松営業所 ☎053-462-7021 神戸住宅開発営業所 ☎078-686-0520 大分営業所 ☎097-555-9081
 郡山営業所 ☎024-962-7673 千葉住宅開発営業所 ☎043-304-0413 三河営業所 ☎0564-28-1614 姫路営業所 ☎079-281-5311 長崎営業所 ☎095-887-0871
 新潟営業所 ☎025-285-6551 埼玉営業所 ☎048-686-2391 北陸営業所 ☎076-266-1041 岡山営業所 ☎086-242-5520 熊本営業所 ☎096-344-5650
 群馬営業所 ☎027-280-5350 埼玉住宅開発営業所 ☎048-686-1586 名古屋営業所 ☎052-561-7712 広島営業所 ☎082-943-5043 鹿児島営業所 ☎099-284-5321
 長野営業所 ☎026-239-6210 関東営業所 ☎03-3877-7770 名古屋住宅開発営業所 ☎052-589-8783 広島住宅開発営業所 ☎082-943-5053 宮崎出張所 ☎0985-61-7779
 松本営業所 ☎0263-24-2677 三多摩営業所 ☎042-564-5806 岐阜営業所 ☎058-273-1981 山口営業所 ☎083-924-7575 沖縄営業所 ☎098-862-5041

旭川営業所 ☎0166-51-8094 水戸営業所 ☎029-251-6515 横浜営業所 ☎045-820-2400 三重営業所 ☎059-254-3777 松山営業所 ☎089-958-3780
 仙台営業所 ☎022-259-2431 宇都宮営業所 ☎028-657-5555 横浜住宅開発営業所 ☎045-820-5525 大阪営業所 ☎072-621-7722 北九州営業所 ☎093-621-8505
 仙台住宅開発営業所 ☎022-388-8518 東京第一第二営業所 ☎03-3204-6601 厚木営業所 ☎046-294-3666 大阪住宅開発営業所 ☎072-621-7747 福岡営業所 ☎092-622-5561
 青森営業所 ☎017-762-3855 東京住宅開発営業所 ☎03-3204-6602 静岡営業所 ☎054-284-1877 南大阪営業所 ☎072-253-1910 福岡住宅開発営業所 ☎092-622-5562
 盛岡営業所 ☎019-654-8380 千葉営業所 ☎043-304-0411 浜松営業所 ☎053-462-7021 神戸住宅開発営業所 ☎078-686-0520 大分営業所 ☎097-555-9081
 郡山営業所 ☎024-962-7673 千葉住宅開発営業所 ☎043-304-0413 三河営業所 ☎0564-28-1614 姫路営業所 ☎079-281-5311 長崎営業所 ☎095-887-0871
 新潟営業所 ☎025-285-6551 埼玉営業所 ☎048-686-2391 北陸営業所 ☎076-266-1041 岡山営業所 ☎086-242-5520 熊本営業所 ☎096-344-5650
 群馬営業所 ☎027-280-5350 埼玉住宅開発営業所 ☎048-686-1586 名古屋営業所 ☎052-561-7712 広島営業所 ☎082-943-5043 鹿児島営業所 ☎099-284-5321
 長野営業所 ☎026-239-6210 関東営業所 ☎03-3877-7770 名古屋住宅開発営業所 ☎052-589-8783 広島住宅開発営業所 ☎082-943-5053 宮崎出張所 ☎0985-61-7779
 松本営業所 ☎0263-24-2677 三多摩営業所 ☎042-564-5806 岐阜営業所 ☎058-273-1981 山口営業所 ☎083-924-7575 沖縄営業所 ☎098-862-5041

大利根工場・埼玉工場・神奈川工場・名古屋工場・大阪工場・兵庫工場・九州工場

このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。特記仕様がある場合は、これを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

URL <https://www.sk-kaken.co.jp>



特約販売店

[製作年月:2019年11月](191115.KO-2)